

自立と共生！

たくましい日本！

No. 202号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2003年9月29日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp**○解散国会が始まる。****テロ特措法が焦点。**

26日に召集される臨時国会にむけて、日程調整の攻防が始まっています。テロ対策の特別委員会は、野党のサイドは通常国会と同じメンバーで対応することになっています。与党から高村元外務大臣が委員長ポストを降りて衛藤征士郎さんにかわります。小泉さんを相手に戦った党首選挙で、高村派が干されてしまったその腹いせにやめたのだと解説してくれた人がいました。私の交渉相手の中谷元防衛庁長官も、今度の小泉人事には満足していないうちの一人です。安部幹事長の人気はあっても、その後で、彼を操るであろう森元総理の影を自民党議員達は、見ている。閣僚名簿には、小泉さんがぶっ潰すと言ってきたその抵抗勢力本流が入り込んできた状況に、「古い自民党が小泉政権を乗っ取った。」という現実がある。国民からは見えないところで、自民党内部ではシラケと危機感が走っています。

29、30日、衆参の代表質問。1日、2日が予算委員会。その後にテロ特の委員会を3日以上とると、参議院の日程が10日意向にずれ込んで解散が予定通りできなくなります。民主党としては、予算委員会で新しい閣僚の考えを質していくことは大切だと思っていますから、10日の解散を許容すれば、1日、2日あたりは、昼間の予算委員会が終わった後、夜にテロ特の委員会を開催する事になります。ずいぶん大変な日程になりそうです。

○テロでなくなったデメロとアキーラの思い出。

通常国会が終わって、イラクとアフガニスタンを現場視察した時、現地で意見交換した人たちが次々とテロの犠牲になって死んでいます。

イラク統治評議会委員のアキーラ・ハシーミ女史も、凶弾に倒れ、先週、その命を落としました。統治評議会を訪問した時、彼らの会議が長引いてしばらく別室で待機することになりました。その時、彼女が一人、先に私達のもとに駆けつけて相手をしてくれたのでした。「イラクの女性は、日本に対して特に親しみを持っています。日常使う洗濯機などは全て日本製であり、他国のものと違い、使えば使うほど人気の出るほどの評判です。」こんなことを言って、私達の気持を和ましてくれました。しかし、全体のメンバーの会談が終わった後、帰り際に、私達の女性メンバーである阿部議員を捕まえて、「皆はいろいろ言ったけど、私の本音は、アメリカ軍の統治を一刻でも早く終わらせたいということです。武力で押さえ込んでも、本当の平和はきません。」このことを、そつとつぶやいていました。こうした思いをもって国の再建に取り組む人を、どうして銃で狙い撃ちしなければならないのか。腹が立つと同時に、中東の人々の心を理解できないもどかしさがつづります。

○10月10日解散、11月9日総選挙投票日。

いよいよ総選挙です。どうかよろしくお願ひします。

新民主党は、三重県で、1区・中井治、2区・中川正春、3区・岡田克也、4区・伊藤忠治、5区・金子洋一と全部がそろいました。政権をかけて戦う選挙をしていきます。

私も、仲間達が選挙態勢を立ち上げる準備をはじめてくれました。解散とともに、私が有権者の中に入り込んでいって、「税の無駄使い」を徹底的になくして、この国を「強くて、たくましい」しかも「豊かでやさしい国」にしたい。そのための具体的な道すじを、「マニフェスト」でまとめ、必ず実現します、とうったえ

国連の特別代表デメロ氏は、先月起きた国連事務所への爆弾テロで命を落としました。ブラジル人らしい明るさと明快な論理で、私達にイラク復興への道すじを情熱を持って語っていたことを思い出します。爆弾テロの2週間ほど前に私達も、ねらわれたあの部屋で彼を囲んで話をしていたことを思うと、テロリスト達に対して新たな怒りが込み上げてきます。

ていきます。

この選挙に、私とともに参加をしていただける方の大募集をしています。やっていきたい事、皆の意見を吸い上げるアイデアなどの提案をしていただきたいのです。

ボランティアとして協力いただけませんか。ぜひお願いいたします。